

校長の自慢『360分の1の才能③』

皆、それぞれ才能を持っています。その才能を発揮し輝かせるためには表には見えない努力が不可欠です。

今回は、前回の「10秒台の男」に引き続き、その才能をスポーツで輝かせている2年生の山田 慈英さんです。

小学校6年生の時に、父親からすすめられて地域（堺市）のフットサルのチームに加入しました。フットサルは、通常のサッカーコートより小さいコート（縦40m×横20m）やゴール（縦2m×横3m）を使用し5人対5人でおこなわれる（サッカー）スポーツです。ボールに触れる回数（時間）の多いフットサルに、彼は夢中になり中学校3年間もこの地元チームで活躍しました。そして、3年の時にグリーンアリーナ神戸をホームとしているFリーグのデウソン神戸の育成（2軍）のセレクションを受け、高校からデウソン神戸の選手として活躍しています。自宅の堺から本校へ通い、その後、神戸での練習に明ける毎日が続いています。

1年の時には育成で頑張りFリーグにおいて特別指定選手に認められ、1年生の後半から1軍の試合にも参加するようになり、高校2年生の夏にはアンダー19に選出され、タイで行われた国際試合にも参加しました。また、11月12日には、グリーンアリーナ神戸で行われた試合でのFリーグ最年少ゴール日本記録となる初ゴールあげました。

しかし、その陰には彼の努力があります。彼がデウソン神戸で選手としてやっていくと決まった時に父親から「学校（勉強）をおろそかにするようであればデウソン神戸での活動は認めない」と言われたそうです。担任に彼の学校の様子を聞くと、その教えを守りしっかりと学業に励み学校行事においても積極的に参加しているとのことでした。

地方に試合に出る際にはどうしても学校を休まなくてはならないことがあり、休んでいる時の授業で行われたことがわからないこともあり困ることもあったそうです。そんな時に先生方から声をかけてもらい放課後に勉強を教えてくれたりするので、「ありがたく、大変助かっています」と感謝の言葉を伝えてくれました。

地方に試合に出る際にはどうしても学校を休まなくてはならないことがあり、休んでいる時の授業で行われたことがわからないこともあり困ることもあったそうです。そんな時に先生方から声をかけてもらい放課後に勉強を教えてくれたりするので、「ありがたく、大変助かっています」と感謝の言葉を伝えてくれました。

今後も困難なこともあると思いますが、学校生活も大切にし、自分の夢に向かって頑張れ！

